

県立中央病院連携室だより

- ともに歩む地域医療 -

●発行月 令和6年6月

●発行 岩手県立中央病院 地域医療福祉連携室 〒020-0066 盛岡市上田1-4-1 TEL 019-653-1151 (代)

「地域医療連携推進の基本方針」

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| 1. 顔の見える連携 | 5. 24時間救急受け入れ体制 |
| 2. 地域連携バスと逆紹介の推進 | 6. 地域医療福祉連携室を通じた地域包括型連携の推進 |
| 3. 紹介患者の迅速予約と優先診療 | 7. 高額医療機器の共同利用推進 |
| 4. PHSによるDr.Direct Call | 8. 地域医療研修センターの利用の推進 |

地域医療福祉連携室長就任のごあいさつ

地域医療福祉連携室長
(血液内科長)

村井 一範



初めまして、血液内科の村井一範と申します。今年度より菊池貴彦先生(現:統括副院長)に替わりまして、地域医療福祉連携室長を拝命いたしました。まずはこの場をお借りして関係機関の皆様へご挨拶申し上げます。

さて、コロナ第10波は原稿執筆時点の5月上旬では全国的に定点あたり2.27人、県内では3.98人と減少傾向が続いており、一方で季節性インフルエンザの流行については収束したと思われます。新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行して1年が経過しました。世間では1年も経つとマスク着用に関しての言及がほとんど見られなくなりました。外国人観光客が過去最多に上り観光産業はコロナ禍以前の水準に回復しました。また、ゴールデンウィークの帰省ラッシュの報道を見るとだんだん世の中に活気が戻ってきたと感じられます。

地域に視点を向けると、転院調整をお願いした際にお返事を頂くまでに要する日数が短くなったり、面会禁止とされていた病院から制限付きながら面会可能となったりと患者さんご家族にとって大変喜ばしいことが増えてきたことと思

います。当院においても、ご家族の面会は曜日制限を撤廃し、介護支援専門員は病室への入室を全面的に許可するなど徐々に条件緩和を実施しているところであります。介護支援専門員の皆様においては、コロナ特例の終了で病院との情報共有をした場合に算定する加算に対面が必須条件となっている項目があると伺っております。今までは感染対策でなかなか来院出来ずにいた方も多くいらっしゃると思いますが、当院としても顔の見える連携を推進しておりますので皆様のご来院をお待ちしております。

未だコロナの影響が残っている部分もあり、コロナが流行する前に比べてご紹介いただく患者さんが減少しております。コロナ前後の比較として当院における令和元年度および令和5年度下半期(10月～翌年3月)の紹介患者数を見ると、令和元年度は6,261名、令和5年度は5,296名と6ヶ月で約1,000名減少となっております。感染対策として不急の紹介をしないようにとご遠慮なさっている方や診療制限でご紹介をお受けできなかった時期に中央病院の敷居が高くなったと思った方がいらっしゃるかもしれません。コロナが落ち着いた今、経過順調な患者さんを地域の先生方に逆紹介し、そこで得た分の余力を紹介患者さんの受け皿として確保することで当院が果たすべき役割としての高度医療を広く提供できるよう努めていく所存です。

前方後方の連携を最大限活用し、地域医療にさらなる貢献をして参りますので今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

地域医療連携ネットワークシステムについて

医療DXが叫ばれる中、残念ながら岩手県では未だ県全体の診療情報共有システムは構築されておきませんが、当院では平成31年1月より、地域の医療機関において当院の診療情報を閲覧することができる『岩手県立中央病院地域医療連携ネットワークシステム』を運用しております。システム導入は業者が直接訪問して行うことも出来ますので、御一考のほどよろしくお願い申し上げます。

既にご利用頂いている医療機関の皆様へは平素よりご協力賜りまして改めて感謝申し上げます。

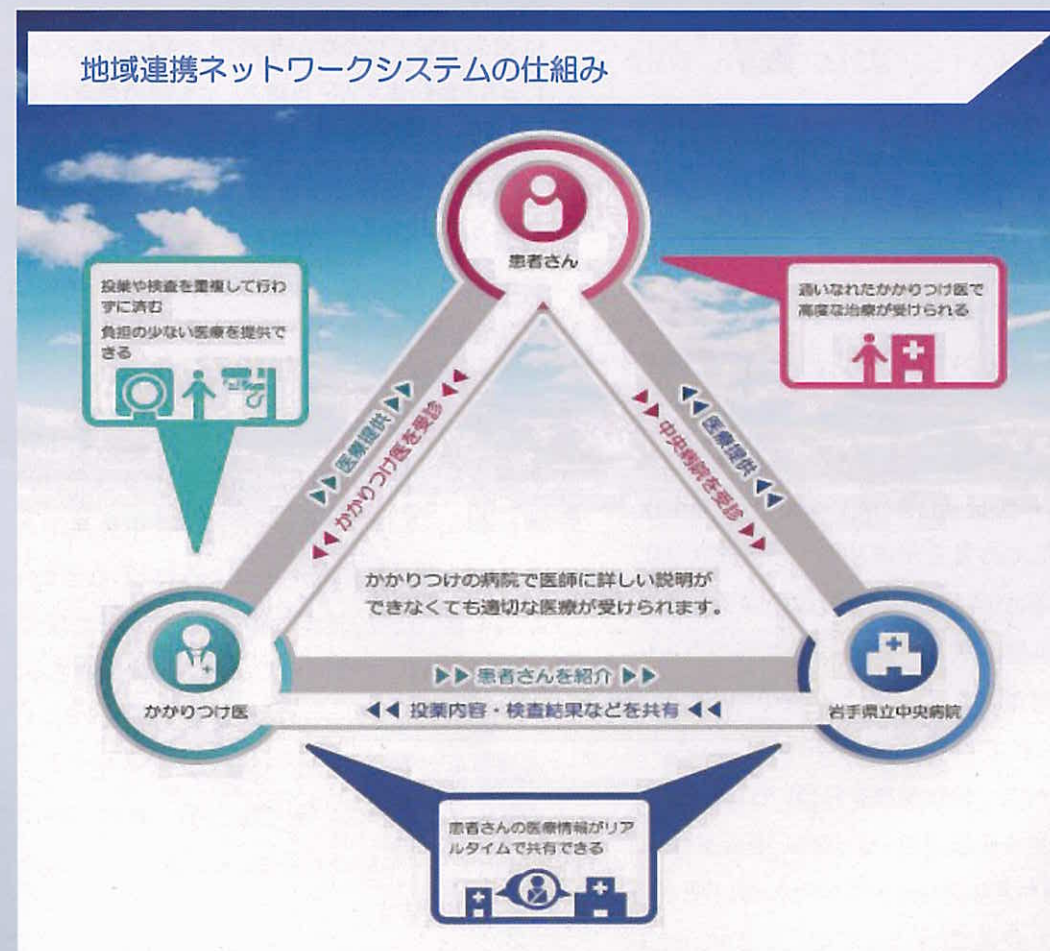
「地域連携ネットワークシステム」とは

「地域連携ネットワークシステム」は患者さんの同意に基づいて、県立中央病院でこれまで処方された投薬内容、検査結果、CT画像などの医療情報をインターネットの仕組みを利用してリアルタイムでかかりつけ医などに情報提供するシステムです。

かかりつけ医は提供された医療情報を患者さんの診療に活用することができます。

患者さんの情報を守るため、医療情報の提供を受けられる医師などの医療従事者は事前に県立中央病院に申請し、登録することが必要です。また、外部からの不正アクセスや情報漏えいを防ぐため、国が定めるガイドラインに則った仕組みを構築しています。

登録している医療機関は県立中央病院ホームページで公開しています。



地域医療連携ネットワークシステム Q&A

Q 地域連携ネットワークシステムへの登録は？

A 患者さんが同意した場合のみ登録されます。
登録は無料です。

Q 地域連携ネットワークシステムに登録すると誰にどのような医療情報を提供するのですか？

A システム利用者として事前登録したかかりつけの医師等の医療従事者に、県立中央病院での投薬や注射の内容・検査結果・CTやMRIなどの画像と診断所見・手術記録などの医療情報を提供します。患者さんが同意したかかりつけ医の医療機関以外の医療機関では医療情報の提供を受けることはできません。

Q 情報がもれる心配はありませんか？

A 地域連携ネットワークシステムでは最新のインターネット暗号化技術を使用します。これは、全国各地の医療情報ネットワークで既に使用されており、情報漏えいの問題は起きていません。

閲覧に使用する機器についても登録以外の機器からはアクセスできない仕組みとなっています。

医療情報に対するアクセスは全て記録します。

Q 地域連携ネットワークシステムへの登録を取り消すことはできますか？

A 患者さんからの希望があれば、いつでも登録を取り消すことができます。

患者さんのメリット

かかりつけ医と県立中央病院の間で患者さんの情報を共有

患者さんが県立中央病院で受けられた投薬の内容や検査結果などをかかりつけ医と情報共有することで、
 通いながらかかりつけ医で検査結果などに基づいた適切な医療を受けられます。

診察内容の把握

県立中央病院での投薬内容や検査の結果をかかりつけ医に詳しく説明ができなくても、かかりつけ医は地域連携ネットワークシステムの医療情報から把握することができます。

投薬や検査の重複の防止

投薬や検査の重複を防ぎ、身体的・経済的な負担が軽減されます。

お問い合わせ先

岩手県立中央病院 地域医療福祉連携室

Tel : 019-653-1151(代表)

Fax : 019-654-5052

平日午前9時から午後5時まで

新任医師

令和6年4月1日より35名の医師が赴任いたしました。
どうぞよろしくお願いいたします。

消化器内科医長

まくうち もとき
幕内 大貴

消化器外科医長

かきざき ゆうた
柿崎 裕太

心臓血管外科医長

たけとみ りゅういち
武富 龍一

脳神経内科医長

たかはし かい
高橋 海

脳神経外科医長

やました しょうた
山下 将太

麻酔科医長

むらかみ たすく
村上 輔

小児科医長

みねぎし ひでひろ
峯岸 英博

小児科医長

みねぎし りえこ
峯岸 理恵子

ICU科医長 兼 麻酔科医長

よしだ めぐみ
吉田 恵

血液内科医長

すがわら のりふみ
菅原 教史

産婦人科医長

いとう りかこ
伊藤 理華子

消化器外科医師

かめい まさき
亀井 正紀

消化器外科医師

なかじま まゆみ
中嶋 真弓

消化器外科医師

おおしま りかこ
大島 里佳子

消化器外科医師

たかはし りょう
高橋 糧

循環器内科医師

あらさわ かずや
荒沢 和也

循環器内科医師

おやま あずさ
小山 あずさ

脳神経内科医師

とば りく
戸羽 陸

脳神経内科医師

ひらい えいすけ
平井 英祐

呼吸器内科医師

おおわだ よしひさ
大和田 幸悠

腎臓・リウマチ科 医師

ちだ かずき
千田 和希

泌尿器科医師

たかはし けんた
高橋 健太

泌尿器科医師

たけうち こうた
竹内 孝太

小児科医師

やぎ ゆうき
八木 悠貴

産婦人科医師

ささき まき
佐々木 麻妃

糖尿病・内分泌 内科医師

すぎたつ よしと
杉立 佳登

整形外科医師

さとう めぐみ
佐藤 恵

整形外科医師

はやさか けん
早坂 賢

整形外科医師

さかい ひろ
酒井 鴻

整形外科医師

もりと あやか
森戸 文香

形成外科医師

ふなき あきひろ
船木 章博

皮膚科医師

とうり えり
桃李 英莉

皮膚科医師

さいとう たろう
齋藤 太郎

麻酔科医師

よしだ そう
吉田 創

麻酔科医師

たばた こうだい
田畑 幸大

